

クロアチア情勢

主な出来事

2017年3月

内政

- 2日、憲法裁判所は、1991年に市民団体から提出されていた「中絶法」(1978年制定、現行法)の違憲性の訴えを審議し、これを棄却。他方、議会に対し、今後2年以内に中絶に関する新法を制定することを要請。
- 2日、政府は、第2次世界大戦から1991年のクロアチア独立までの期間における権威主義体制支配による影響に対処するための評議会を設立。クシッチ・クロアチア科学芸術アカデミー(HAZU)総長を議長とし、有識者、研究者、歴史家、法律家等で構成される。
- 6日、プレンコビッチ首相は、旧政府関係者の旅費不正請求問題に関する捜査続行をツビタン検察長官に要請。
- 7日、野党第1党社会民主党(SDP)ベルナルディッチ党首を筆頭に、ベリャク農民党(HSS)党首、フレリヤ年金者党(HSU)党首、ブレゴバツ労働党(HL)党首及びヨシポビッチ前進党党首は、中道左派政党の新しい枠組みを形成する「良き社会に向けた宣言」文書に署名。
- 8日、政府は、EU基金を活用した当国東部スラボニア地方におけるプロジェクトについて協議するための「スラボニア・バラニャ・スリエム評議会」を設立。プレンコビッチ首相を筆頭に、地方開発・EU基金相、農業相、労働・年金システム相らがメンバーとなった。
- 28日、スプリット市議会は、本(2017)年度同市予算の採択を断念。これに伴い、バルダサル同市市長が解任され、次期市長選挙までの間、政府が指名するコミッショナーが就任。

外交

- 2日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、シーヤールトー・ハンガリー外務貿易相と共にボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)訪問。ツルナダクBH外相との3者協議の他、BH大統領評議会メンバー及びズビズディッチBH閣僚評議会議長と会談した。
- 2日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、当国訪問中のシミチコー・ハンガリー国防相と会談。両国間の防衛分野におけるハイレベルの協力体制を構築した旨発表。
- 3日、ザグレブにおいて、第2回南東欧協力プロセス(SEECP)非公式外相会合開催。同会合での合意事項をまとめた共同宣言を発出。

- 3日, NATOがアフガニスタンで展開する「確固たる支援」任務(RSM)に参加するクロアチア軍第6次派遣団の派遣式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領兼軍最高司令官, クルスティッチェビッチ副首相兼国防相, シュンドフ・クロアチア軍参謀総長等が出席。
- 7日, グラバル＝キタロビッチ大統領は, 当国訪問中の欧州人民党(EPP)グループ党首ウェーバー欧州議会議員と会談。
- 7日, シュティール副首相兼外務・欧州問題相は, ジュネーブで実施の国連人権理事会の機会に開催された「宗教間対話, 平和及びカトリック教徒と宗教的マイノリティの保護」と題するパネル・ディスカッションに参加。
- 9－10日, プレンコビッチ首相は, 欧州理事会出席のため, ブリュッセル訪問。
- 13日, グラバル＝キタロビッチ大統領は, 当国訪問中のアフガニスタンNATO特別任務構成部隊(NSOCG-A)司令官のハウエル少将と会談。
- 14日, シュティール副首相兼外務・欧州問題相は, ルーマニアを訪問し, メレシュカーヌ同国外相と会談。
- 15日, グラバル＝キタロビッチ大統領, プレンコビッチ首相, ペトロフ議会議長及びシュティール副首相兼外務・欧州問題相は, 当国訪問中のダルマノビッチ・モンテネグロ外相とそれぞれ会談。
- 17日, 議会は, 2015年12月の国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において採択された協定(パリ協定)を全会一致で採択(クロアチアは, グラバル＝キタロビッチ大統領が2016年4月にニューヨークにおいて同協定に署名)。
- 17日, オレピッチ内相は, モンテネグロを訪問し, ヌホジッチ同国内相と会談。
- 20日, バンディッチ・ザグレブ市長は, 当国訪問中のチェレミン(Sergey Cheremin)モスクワ市政府大臣と共に, 2017－2019年における両市間の協力を規定したプログラムに署名
- 20－24日, グラバル＝キタロビッチ大統領は, スウェーデンを公式訪問。カール16世グスタフ国王及びシルヴィア王妃, ロヴェーン首相, アリーン国会議長(以上21日), フルトクヴィスト国防相(22日)等と会談。
- 20－21日, クルスティッチェビッチ副首相兼国防相は, イスラエルを訪問し, リーベルマン同国防相と会談(21日)。
- 22日, シュティール副首相兼外務・欧州問題相は, 米国ワシントンで開催された対ISISグローバル連合閣僚級会合に出席。
- 22日, プレンコビッチ首相及びシュティール副首相兼外務・欧州問題相は, 同日ロンドンで発生した英議会下院及び周辺でのテロ事件に際し, メイ英首相及びジョンソン同外相へ, また23日, グラバル＝キタロビッチ大統領は, エリザベス女王へ哀悼の意を伝達。
- 23日, プレンコビッチ首相は, トルシッチ農業相らと共に, 当国訪問中のホーガン欧州委員(農業・農村開発担当)と会談。
- 25日, プレンコビッチ首相は, ローマ条約60周年EU首脳会議出席のため, 伊ローマを訪問。EU加盟諸国首脳らと共に, 同会議の成果文書「ローマ宣言」に署名。
- 27日, プレンコビッチ首相及びダリッチ副首相兼経済・中小企業相は, 当国訪問中のミツァ欧州委員(国際協力・開発担当)と会談。

- 27日、プレンコビッチ首相、シュティール副首相兼外務・欧州問題相及びダリッチ副首相兼経済・中小企業相は、当国訪問中のマルムストローム欧州委員（貿易担当）と会談。
- 28－29日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びプレンコビッチ首相は、2日間の日程で当国公式訪問中のゼマン・チェコ大統領と会談（28日）。クロアチア・チェコ経済フォーラム開催（29日）。
- 29－30日、プレンコビッチ首相は、マルタを公式訪問し、コレイロ＝プレカ同国大統領及びムスカット首相と会談（29日）。また、同地において開催された欧州議会の欧州人民党グループ（EPP）会合に出席（30日）。
- 31日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、NATO外相会合出席のため、ブリュッセル訪問。
- 31日、マイダク農業省副大臣は、クロアチア北東部グドバツツ村において、屈冬玉（QU Dongyu）中国農業部副部長との間で農業分野での協力に係る2017－2018年の行動計画に署名。

経済

- 1日、政府は、雇用創出、就業能力強化等を目的として9つの施策からなる雇用促進プログラムを発表。同プログラムには政府予算より15億クーナ（約24億円）が支出され、3月2日および施行される。
- 10日、信用格付企業ムーディーズは、クロアチアのソブリン格付けを公表。依然構造改革への取り組みが不十分であるとし、優先無担保債券と長期債券発行体を「Ba2」のまま据え置いた。他方で、景気回復を反映し、見通しについては「ネガティブ」から「安定」に引き上げた。
- 10日、統計局は、2016年の貿易統計を公表。前年比で輸出は5.7%増、輸入は5.4%増であった。対日貿易は輸出が同26.8%減、輸入が同22.4%増となった。
- 13日、クロアチア財務省は、償還期を迎えたクロアチア国債の借換えのため、ロンドン市場で12.5億ユーロの10年国債を発行した（クーポンで3.0%、イールドで3.19%）。
- 16日、政府は、クロアチア高速道路会社の高速道路料金値上げを含むリストラ計画案を承認。これにより、4月1日より高速道路料金は全車両に対し5%値上され、乗用車に対しては7月から9月の3カ月間は更に5%の値上げが加算されることとなる。
- 21日、新ザグレブ（フラニョ・トゥジマン）国際空港旅客ターミナルの公式オープン。28日、新ターミナルが運用を開始した。同新ターミナルは、500万人の利用客を想定（旧ターミナルは同280万人）しており、今後受け入れ能力は、800万人まで拡張される計画。ボーディング・ブリッジも国内線用に2つ、国際線用に6つ新たに導入された（旧ターミナルにボーディング・ブリッジは無く、搭乗に際しバス移動が必要だった）。

主要経済指標

(2017年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (1月)	輸入総額 (1月)	貿易赤字 (1月)	工業生産高 (2月)	インフレ率 (2月)	失業率(登録制) (2月)
+28.4% (75億クーナ, 10億ユーロ)	+14.6% (112億クーナ, 15億ユーロ)	+6.1% (37億クーナ, 5億ユーロ)	+2.3% (1月:4.0%)	1.4% (1月:0.9%)	15.3% (1月:15.4%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。